≪重点管理事業≫

水道部

時間

事業NO. 801

評価対象 都営水道事業の事務委託解消に向けた取り組み								部課名			フ	ば	部.	工務課	務課			
事業名	事業名 御呂小旦争未の争物安託胜用に回りに取り組み								係名	庶務係			内線		3413		13	
基本計画掲載 あり 〇 なし 体系 第4部 第3・8-(1)-①								-(1)-1	歳出科目	款	1. 受託	水道事業費	項	1. :	水道管理費	目	1.	配水費
計画事業名都営水道事業の事務委託解消に向けた取り組み							受託水道事業特別会計	事項	2. 酉	水事和	务費							
関連計画 水道業務移行計画(三鷹市)								補助区分	玉		都	C)	市単独				

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記。

事務委託方式で行われている水道事業について、平成23年度末に同方式を解消し、すべての業務を東京都水道局へ 目移行するため、最終年度のスケジュール管理を行い、市民サービスの低下を招くことのないよう配慮しながら円滑な移行 的を図る。

三鷹市との協議に基づき、平成18年3月、東京都において策定した「水道業務移行計画(三鷹市)」に沿って、事務委託 概 方式の解消に向けた作業を順次進めていく。 要

始期 年度から 終期 年度まで 当該事務に従事する実職員数 0.5 人または

今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)

平成23年度末に行われる庶務系、施設管理系、給水装置系の事務委託方式の解消について、都と十分協議を進めてい く。あわせて事務委託解消後の東京都水道局との連携のあり方についても、検討を進めていく。

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明

事務委託解消に向けた業務内容等についての都及び市との協議、調整等を活動指標とする。

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

事務委託解消に向けた業務内容等についての都及び市との協議、調整等をまちづくり指標とする。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

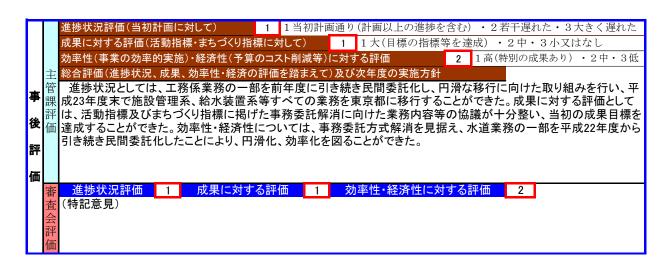
年度別明細	H21年度	H22年度	H23年度目標	H23年度達成
活動指標(事業・活動の内容・量)	・事務委託解消に向けて、業務系業務の移行 時期を1年前倒しし、平成22年度からの業務の一部委託について、具体化した。	・事務委託方式解消に 向けた業務内容、組 織、人員体制等の協議	・事務委託方式解消に向けた業務内容等の協議	・施設管理系、給水装置 系業務の移行が完了し、 事務委託方式がすべて 解消した。
まちづくり 指標(成果 指標) ①行政指標 ②協働指標	①事務委託解消に向けて、業務系業務の移行時期を1年前倒しし、平成22年度からの業務の一部委託について、具体化した。	①事務委託方式解消 に向けた業務内容、組 織、人員体制等の協議	①事務委託方式解消 に向けた業務内容等の 協議	①施設管理系、給水装置 系業務の移行が完了し、 事務委託方式がすべて 解消した。
予算額(千円)		132,679	45,419	45,419
決算額(千円)		132,300		45,255
執行率(%)		99.7%		99.6%



当初計画どおり実施

事業NO. 801	事業名	都営水道事業の事務委託解消に向けた取り組み②	≪重点管理事業≫	水道部
------------------	-----	------------------------	----------	-----

中間評価時の課題と次年度の改善・改革方向 平成23年度末に行われる施設管理系、給水装置系の事務委託方式解消に向けて、最終年度のスケジュール管理を行い 東京都との協議を進めている。今後も、市民サービスの低下を招くことのないよう配慮しながら、円滑な移行を図っていく。 主管課中間評価(今年度で事業が終了する場合は記入不要) 来年度は本年度よりコストが、1減少する・2維持・3増加する(比較できない場合は理由のみ記載) コスト面 (理由) 成果面 来年度は本年度より成果が、1増加・2維持・3減少する(比較できない場合は理由のみ記載) (理由) 中 今後の委託・協働等(民間・嘱託臨職・市民による一部実施を含む)の可能性について 1ある・2ない・3その他 (理由及び具体的内容) ᄩ 改善提案に対する事業評価審査会の意見・評価(又は平成23年度の取り組みに対する意見) 評価 - 1 妥当である・2 改善の余地あり・3 抜本的な見直し必要 (特記意見) 価 平成24年度における決算事務や応急給水等の所管については、新たな名称も含めて早期に調整すること。 改善提案に対する政策会議の意見・評価(又は平成23年度の取り組みに対する意見) 24年度以降についても道路台帳へ適切に反映できるよう、更新方法について検討すること。また、都水道局との連絡調 整が円滑に進むよう、組織体制について検討すること。



事業NO. 802 事業名 経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上① 《重点管理事業》 水道部

水道部工務課 部課名 評価対象 経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上 事業名 工務係 内線 3436 係名 基本計画掲載 あり 〇 なし 体系 第4部 第3·7-(1)-① 1. 受託水道事業費 項 1. 水道管理費 目 1. 配水費 歳出科目 受託水道事 計画事業名 経年管(配水管)の取り替えによる耐震性の向上 事項3. 配水事業費 業特別会計 関連計画 水道法・東京都水道条例・同条例施行規則 補助区分 国 都 〇 市単独

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

現在、飲料水を配水する配水管の一部に強度の劣る普通鋳鉄製配水管が布設されており、震災時においても安定した 目 給水を確保するため、より強度の高いダクタイル鋳鉄製配水管に管種変更を進める。 的

平成17年度当初における配水管の全体延長は、約319,200mである。これに対して、耐震強度の劣る昭和47年以前に 布設された普通鋳鉄製配水管は、約31,930mが存在している。この普通鋳鉄製配水管をより強度の高いダクタイル鋳鉄 要配水管に布設替えする。

始期 17 年度から 終期 25 年度まで 当該事務に従事する実職員数 1.5 人または 時間

今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)

道路管理者、交通管理者及び他企業との調整を速やかに図り、計画的・効率的な事業を実施する。

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明

計画延長2,680m(三鷹市施工分1,350m、東京都施工分1,330m)

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

計画事業を100%実施し、経年管の残存率を2.3%とする。

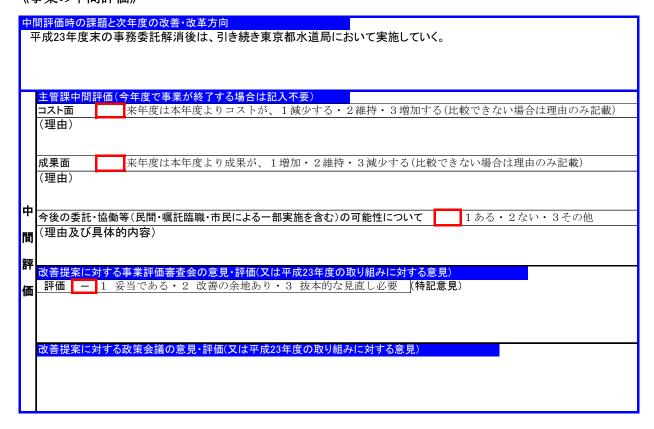
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

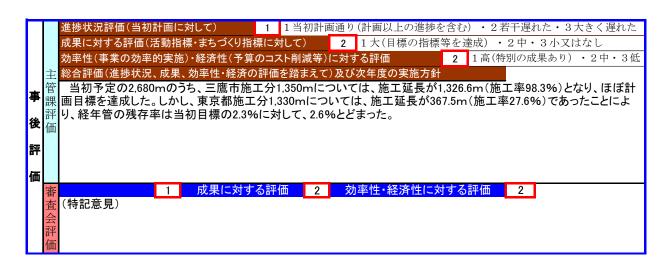
年度別明細	H21年度	H22年度	H23年度目標	H23年度達成
活動指標 (事業・活 動の内容・ 量)	実施延長 2,833.8m	実施延長 2,139.0m	計画延長 2,680m (含東京都施工分1,330 m)	実施延長 1,694.1m (含東京都施工分367.5 m)
まちづくり 指標(成果 指標) ①行政指標 ②協働指標	①残存率3.7%	①残存率3.1%	①残存率2.3%	①残存率2.6%
予算額(+P)	491,243	302,911	169,823	192,593
決算額(千円)	484,566	292,766		189,953
執行率(%)	98.6%	96.7%		98.6%



当初計画変更の内容・理由等(※進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載) 当初計画どおり実施

事業NO. 802	事業名	経年管(配水管)取り替えによる耐震性の向上②	≪重点管理事業≫	水道部
------------------	-----	------------------------	----------	-----





事業NO.	803	事業名	初期ダクタイル管の取り替えによる耐震性の向上①	≪重点管理事業≫	水道部
-------	-----	-----	-------------------------	----------	-----

評価対象	初期ダクタイル管の取り替えによる耐震性の向.							部課名			水	道部	工務課			
事業名	かりお	カンフ	UJAX	り百ん	んによる側板はの円上	係名	工務係				内線		3436			
基本計画掲記	本計画掲載 あり 〇 なし 体系 第4部第3・7-(1)-②							歳出科目	款	1. 受訊	水道事業費	項 1.	水道管理費	目	1. 配水	費
計画事業名	業名 初期ダクタイル管の取り替えによる耐震性の向上						受託水道事 業特別会計	事項	3. 酉	己水事業	費					
関連計画	水道法・東京都水道条例・同条例施行規則						補助区分	玉		都	0	市単独			П	

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

現在、飲料水を配水する配水管の一部に耐震性の劣る初期ダクタイル管(昭和30年代から40年代に布設されたダクタイ目 ル鋳鉄管と高級鋳鉄管の異形管の混在している路線)があり、震災時においても安定した給水を確保するため、新たにダ的 クタイル鋳鉄管への管種変更を進める。

平成21年度当初における配水管の全体延長は、約336,200mである。これに対して、耐震性の劣る初期ダクタイル管は、約13,843mが存在している。この初期ダクタイル管を新たにダクタイル鋳鉄管に布設替えする。

時間

概要

始期 21 年度から|終期 30 年度まで|当該事務に従事する実職員数 0.5 人または

今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)

道路管理者、交通管理者及び他企業との調整を速やかに図り、計画的・効率的な事業を実施する。

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明

計画延長2,080m

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

計画事業を100%実施し、初期ダクタイル管の残存率を3.0%とする。

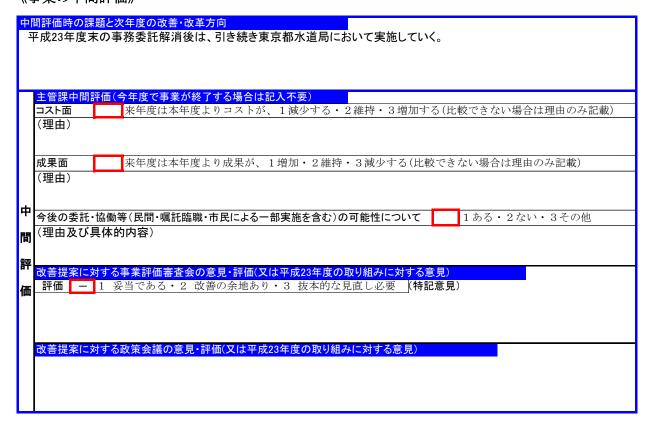
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

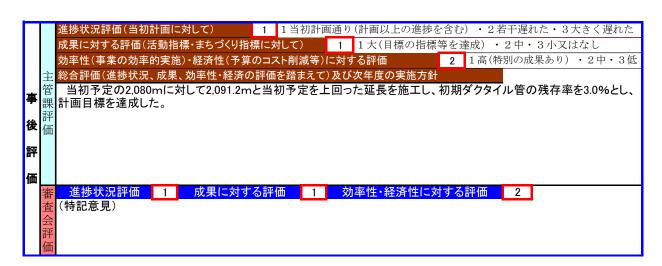
年度別明細	H21年度	H22年度	H23年度目標	H23年度達成
活動指標 (事業・活 動の内容・ 量)	実施延長 614.9m	実施延長 870.0m	計画延長 2,080m	実施延長 2,091.2m
まちづくり 指標(成果 指標) ①行政指標 ②協働指標	①残存率3.9%	①残存率3.6%	①残存率3.0%	①残存率3.0%
予算額(千円)	42,765	132,090	277,981	252,628
決算額(千円)	40,880	131,945		227,311
執行率(%)	95.6%	99.9%		90.0%

左	F間の実施	スケジュー	ル										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	4			設計•施工	 .時期 								
初計正	o H												
糸				設計•施工	時期								
界											•		

当初計画変更の内容・理由等(※進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載) 当初計画どおり実施

事業NO. 803	事業名	初期ダクタイル管の取り替えによる耐震性の向上②	≪重点管理事業≫	水道部
------------------	-----	-------------------------	----------	-----





事業NO.	804	事業名	耐震継手化事業の推進①	≪重点管理事業≫	水道部
-------	-----	-----	-------------	----------	-----

評価対象	耐湿	耐震継手化事業の推進						部課名	部課名 水道部工務課							
事業名	事業名						係名	工務係				内線		3436		
基本計画掲	載	あり	0	なし	体系	第4部	第3·7-(1)-③	歳出科目	款	1. 受訊	水道事業費	項 1.	水道管理費	目	1.	配水費
計画事業名	耐震継手化事業の推進						受託水道事 業特別会計	事項	3. 酉	己水事業	費					
関連計画	画 水道法・東京都水道条例・同条例施行規則					補助区分	国		都	0	市単独					

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記ノ

震災時の断水被害を最小限にとどめ、平常給水に復旧するまでの日数を短縮することを目指し、平成22年度、東京都 |が主要施策と定めた「水道管路の耐震継手化緊急10カ年事業」に合わせ、水道管の耐震継手化の事業を推進する。三 的 鷹市においては、経年管及び初期ダクタイル管に加え、昭和54年以前に布設されたダクタイル鋳鉄管を耐震継手化対象 管と位置づけ、布設替を推進する。

平成23年度当初における配水管の全体延長は、約347,100mである。これに対して、新たに耐震継手化の対象となる昭 概 和54年以前に布設されたダクタイル鋳鉄管の延長は15,763mで、これを計画的に布設替し、耐震継手化率の向上を図 ·要る。

始期 23 年度から|終期| 31 年度まで|当該事務に従事する実職員数| 今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入) 始期 人または 時間

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明

計画延長2,930m

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

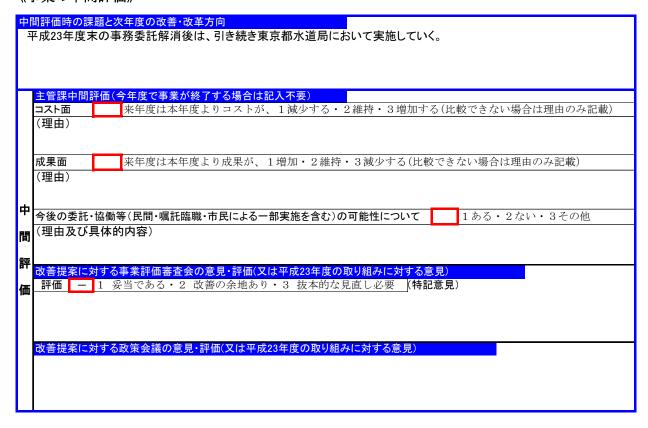
計画事業を100%実施し、昭和54年以前に布設されたダクタイル鋳鉄管の残存率を3.7%とする。

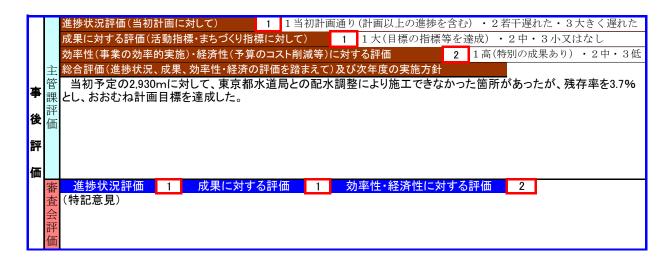
他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H21年度	H22年度	H23年度目標	H23年度達成
活動指標 (事業・活 動の内容・ 量)			計画延長 2,930m	実施延長 2891.1m
まちづくり 指標(成果 指標) ①行政指標 ②協働指標			①残存率3.7%	①残存率3.7%
予算額(+H)			274,492	253,646
決算額(千円)				241,773
執行率(%)				95.3%

年	間の実施	スケジュー	ル									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
业	4			設計•施工	 .時期 							
当初計画												
結	4			設計•施工	時期 I							
果												
교	加斗而亦	軍の内容	• 押山竺(※海珠 45%	L D 越価で記	載した理日	上いかに 針		_ がある ほ 会	(記記載)		

事業NO. 804	事業名	耐震継手化事業の推進②	≪重点管理事業≫	水道部
------------------	-----	-------------	----------	-----





事業NO.	805	事業名	配水管の新設による配水管網の整備①	≪部内管理事業≫	水道部
-------	-----	-----	-------------------	----------	-----

評価対象	配水管の新設による配水管網の整備							部課名		水道部工務課							
事業名 配が官の制設による配が官柄の金浦					係名		工務係			内線	3436						
基本計画掲	載	あり		なし	0	体系		第4部	第3	歳出科目	款	1. 受	托水道事業費	項	2. 建設改良費	目	1. 配水施設費
計画事業名	名 水循環の促進(上下水道)								受託水道事 業特別会計	事項	[2. [配水施設	事	業費			
関連計画	水道法·東京都給水条例·同条例施行規則							補助区分	国		都	С	市単独				
W 1	Inw -			1160		-11 1-1	1 44 1 1	-	IIA LINE.	The false of the				_		_	

事業の目的・概要 目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的

│ 配水管の新設工事を実施することにより、効率的な配水管網の整備を図る。 | |

経年管布設替工事やその他の水道工事にあわせ、隣接した公道や私道に配水管を新設し、複数の配水管路を接続するループ化を進め、事故等におけるバックアップの強化を図る。 また、都市計画事業等の推捗にあわせ、配水管の新設工事を実施する。

人または

時間

恢要

要

始期 年度から 終期 年度まで 当該事務に従事する実職員数 2.5 今年度の改善・改革ポイント(前年度の評価結果等を踏まえて。継続事業の場合記入)

前年度に引き続き、事業の効率化を図り、市民サービスの向上のため、配水管網の整備を進める。

今年度の活動指標(事業・活動の内容・量の指標)の説明

計画延長4,240m

今年度のまちづくり指標(成果の指標)の説明

より効率的な配水管網の整備を行うことによって計画事業を100%実施し、市民サービスの向上を図る。

他団体の先進的な取り組み事例・成果・参考実績値 (コスト比較を含む)

年度別明細	H21年度	H22年度	H23年度目標	H23年度達成
活動指標 (事業・活 動の内容・ 量)	実施延長 4,976.8m	実施延長 6,735.3m	実施延長 4,240m	実施延長 4,384.1m
まちづくり 指標(成果 指標) ①行政指標 ②協働指標	①より効率的な 配水管網の整 備が図られた。	①年度計画の 97.9%の実施	①年度計画の100%の実施	①年度計画の100%以上 の実施
予算額(千円)	376,596	571,819	367,418	365,727
決算額(千円)	319,859	486,714		357,969
執行率(%)	84.9%	85.1%		97.9%

年	間の実施	スケジュー	ル									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当			設計・施コ	 ニ時期 								
当初計画	,											
4±	4		設計・施コ	_ _時期 								
結果	,											

当初計画変更の内容・理由等(※進捗状況評価で記載した理由以外に詳細な説明がある場合に記載) 当初計画どおり実施

事業NO. 80	5 事業名	配水管の新設による配水管網の整備②	≪部内管理事業≫	水道部
-----------------	-------	-------------------	----------	-----

